



2022年 3月14日
第160号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



社員・家族の幸福？ 私たちの生活実感は厳しくなっている！

組合員・家族の声 パート③

生活や趣味に費やすお金が激減、この先の生活に不安を感じるようになった。

ローン払ってほぼほボーナスがなくなりました。ボーナスの意味とは？

持ち株や社員預金を切り崩して生活を維持しています。また異動による都市手当の減少と家賃補助の終了を控えているので先行きが不安です。

ギリギリの生活、国からの一人10万円が無ければ、持ち株を崩さないとやっていけない。

秋から様々なものが値上とない苦しくなった。

生涯賃金が減少したので、今後家の購入や資産運用にも影響が出ています。会社の持ち株もやっていますが、会社の将来にも不安があるし手持ちがないとやっていけないので減額も検討しています。

自由に旅行もできないし、欲しいものも自由に買えない。

物価が上昇しているのに、減収は許せない！



感染症禍の中で趣味の旅行を控えている分、結果的に貯蓄に充てられているが、将来的な持ち家など、ローンを組んでまで買い物をしようという意欲は低下した。

食費等生活費を切り詰めるようになった。

将来が不安。

ローン支払いの為に、貯金を切り崩した。

お小遣いが減った。

去年末に自動車を購入したのですが、新車を買えず、中古車を買いました。次いつ買えるかわからないので大事に乗りたいと思います。

家計簿を随時記入しているが、以前と比べてなかなか貯金ができず苦勞している。

月々の生活費に対してさらに神経を使うようになり、将来設計がしにくくなってしまった。

家庭内の生活費が逼迫した。又、59才の為に昇給も無いので収入のアップが無いのは痛手です。

期末手当カットにより、支給額が下がり、住宅ローン、車ローンで終わりです。

生活は限界だ！ 22春闘満額回答を強く求める！